

平成25年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉援助技術演習 I (Skills Training for Social Work Practice I)	授業コード	E021501
担当教員名	野中 義光, 鍋田 耕作, 河村 裕次		
配当学年	2	開講期	通年
必修・選択区分		単位数	2
履修上の注意または履修条件	「社会福祉援助技術演習 II」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目の履修には、「社会福祉援助技術演習 I」の単位を修得していることが条件となります。		
受講心得	聴くこと, 見ること, 調べること, そして、真剣に考え, 積極的に取り組むことを心がけてください。 また, やむを得ない場合を除いて, 欠席、遅刻は認められません。		
教科書	相澤譲治・植戸貴子他編(2012)『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい		
参考文献及び指定図書	澤伊三男他編『社会福祉援助技術演習ワークブック』相川書房 山田容他著『ワークブック社会福祉援助技術演習1～5』ミネルヴァ書房		
関連科目	相談援助の基盤と専門職, 相談援助の理論と方法, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 公的扶助論, 社会福祉援助技術現場実習, 社会福祉援助技術現場実習指導, 社会福祉援助技術演習 I		

授業の目的	(社会福祉援助技術演習 I・II 共通) 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ, 社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について, 実践的に習得するとともに, 専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。
授業の概要	ロールプレイングやグループワークを活用しながら, 各論における知識と技術の統合を図る。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：オリエンテーション 社会福祉援助技術演習 I の意義・目的・内容について説明。	配布資料
第2週：自己理解, 他者理解 自己理解, 他者理解について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第3週：疑似体験①(車椅子) 車椅子の扱い方について学ぶ。 車椅子利用者について理解する。	リアクションペーパーの提出
第4週：疑似体験②(ブラインドウォーク) 視覚障がい者への支援について学ぶ。 視覚障がい者について理解する。	リアクションペーパーの提出
第5週：価値観について 価値観の違いについて理解する。	リアクションペーパーの提出
第6週：コミュニケーション 言語コミュニケーション, 非言語コミュニケーションについて理解する。	リアクションペーパーの提出
第7週：面接技法 面接場面を実際に体験し, 面接技法について学ぶ。 バイステックの7原則について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第8週：ソーシャルワークの理念①(人権) ソーシャルワークに求められる人権について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第9週：ソーシャルワークの理念②(社会正義[差別・偏見])	

ソーシャルワークにおける社会正義について学ぶ	リアクションペーパーの提出
第10週：ソーシャルワークの理念③(社会的排除と社会的包摂) ソーシャルワークにおける社会的排除と社会的包摂について学ぶ	リアクションペーパーの提出
第11週：ソーシャルワークの理念④(権利擁護) ソーシャルワークに求められる権利擁護について学ぶ	リアクションペーパーの提出
第12週：ソーシャルワークの理念⑤(自立支援) ソーシャルワークに求められる自立支援について学ぶ	リアクションペーパーの提出
第13週：ソーシャルワークの理念⑥(クライアントの利益の優先) ソーシャルワークに求められるクライアントの利益の優先について学ぶ	リアクションペーパーの提出
第14週：ソーシャルワークの理念⑦(倫理的ジレンマ) ソーシャルワークにおける倫理的ジレンマについて学ぶ	リアクションペーパーの提出
第15週：前期振り返り 前期の講義内容について振りかえる。	振り返りレポートの提出
第16週：オリエンテーション 後期演習Ⅰの意義、目的、内容についての説明	配布資料
第17週：ソーシャルワークの理念⑧(個別化) ソーシャルワークに求められる個別化について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第18週：ソーシャルワークの理念⑨(受容・非審判的態度) ソーシャルワークに求められる受容・非審判的態度について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第19週：ソーシャルワークの理念⑩(自己決定) ソーシャルワークに求められる自己決定について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第20週：ソーシャルワークの援助過程①(概説) ソーシャルワークの援助過程および援助内容について理解する。	リアクションペーパーの提出
第21週：ソーシャルワークの援助過程②(インテーク1) インテーク面接の意義・目的について理解する。	リアクションペーパーの提出
第22週：ソーシャルワークの援助過程②(インテーク2) インテーク面接のロールプレイを通じて、面接技法について理解する。	リアクションペーパーの提出
第23週：ソーシャルワークの援助過程③(アセスメント1) フェースシートの作成(情報収集)方法を学ぶ。	リアクションペーパーの提出 フェースシートの提出
第24週：ソーシャルワークの援助過程④(アセスメント2) アセスメントシートの作成(情報分析)方法を学ぶ。	リアクションペーパーの提出 アセスメントシートの提出
第25週：ソーシャルワークの援助過程⑤(プランニング1) 生活課題の捉え方、目標の設定の仕方について学ぶ。	リアクションペーパーの提出
第26週：ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング2) 必要な社会資源を考え、プランニングシートを作成する。	リアクションペーパーの提出
第27週：ソーシャルワークの援助過程⑥(プランニング3) 作成したプランニングシートを発表し、他グループとの共有を行う。	リアクションペーパーの提出 プランニングシートの提出
第28週：ソーシャルワークの援助過程⑦(モニタリング)	

どのような視点でモニタリングを行うのか学ぶ	リアクションペーパーの提出
第29週：ソーシャルワークの援助過程⑧(エバリュエーション) どのような視点でエバリュエーションを行うのか学ぶ	リアクションペーパーの提出
第30週：振り返り 演習Ⅰの内容を振り返るとともに、演習Ⅱとの関連について理解する。	振り返りレポートの提出
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式 「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング 「アクティブ・ラーニング科目」
備考	グループワークが中心とした講義となります。

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループ活動に積極的に参加することができる。
【知識・理解】	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	グループ活動や発表において、自分の考えを適切に伝えることができる。
【思考・判断・創造】	講義を通じて、学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		15点	10点	
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	リアクションペーパー等の提出物をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。